

「いまばり海の駅」 in 内港

～WelcomePort～

＝現状の問題＝

- ・水、電気がない。
- ・予定を優先し、緊急次の対応が？
- *直島はアートで来て下さいといっているが
(ヨットに関しては時間にうるさい)

海の駅が出来るまでは、評判の悪い港であった。
20年ぐらい前まではいろいろな船が今治港をおとずれていた。海は何があるかわからない。予定通りの行動が難しい。何かあった時にいつでも入れる港を目指すべきである。

WelcomePort

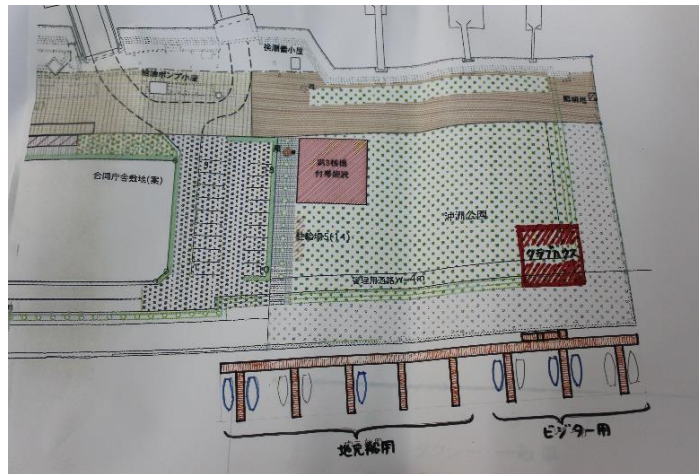


＝方向性＝

- ヨットハーバーと海の駅が混在
(地元の船 10 艇、外部 6 艇ぐらい泊まれるみなど)
- 水・電気・油の補給ができ、シャワー・トイレがある
- クラブハウスの併設。レストラン等も充実させればなお良い。
- レンタサイクルの実施・地域情報インフォメーション
- 今の海の駅の位置は「波が悪い」海上保安庁の船がうるさい
⇒内港がベスト

＝効果＝

- ヨットが泊っている風景は人を引き付ける
(カップルが海際を歩きだす。)
- 停泊しているヨット自体がにぎわいのコンテンツ
(沖州広場と一体化した利用・イベントでの乗船体験等が可能)
- 外部からヨットが来た時に迎えるのは地元の関係者
- しまなみ海道の航路は世界的に有名
- 地元のオーナーの船に乗船することにより、若いクルーの育成ができる
- いままで今治に興味を持ってもらえなかった人へアプローチ



＝運営＝

- ・指定管理制度にて運営を委託する。
ハーバーマスターを置き、全体の管理運営を市民にまかせる。
基本的にはボランティアでルール等も創る
- ・地元の人からも停船料をとり、運営資金へ回す。
- ・クラブハウスは設けるが、地元の間人が大きな顔をして使わないようにする。あくまでも交流を促す施設とする。
- ・受け入れの充実が一番の売り。地元のヨット関係者が自主管理する

